

学校経営方針

本県教育の目標
 ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
 ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
 ・郷土を愛し 協力し合う心を育てる

いばらき教育プラン
 一人一人が輝く 教育立県を目指して
 ～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

行方市教育大綱
 自然と歴史に育まれ
 未来を切り拓く
 心豊かでたくましい人づくり

校訓

学び 磨き 思いやる

本校の教育目標

「志高く 未来を切り拓く力を育てよう」

目指す生徒像
 《入学してよかった》

- 自ら考え行動できる生徒
- 認め合い励まし合える生徒
- あいさつができる生徒

《1年》
 ・基本的な生活習慣・学習習慣を身に付け、互いに尊重し合える生徒

《2年》
 ・常に目標をもち、それに向かって全力で努力できる生徒

《3年》
 ・目標達成に向けて、自己決定できる生徒

目指す学校像
 《入学させてよかった》

- 生徒や保護者が誇りに思える学校
- 地域に開かれた魅力ある学校

目指す教師像
 《勤務できてよかった》

- 明るく積極的な教師
- 指導力のある教師
- 人間性豊かな教師

《知》
 確かな学力を身に付けることができる。

《徳》
 思いやりの心とたくましい心をもつことができる。

《体》
 健康な身体をもつことができる。

＜学校経営の重点＞

- 高い人権意識をもち、教師と生徒、生徒相互の温かな人間関係をつくる
- 一人一人を大切に授業を展開し、確かな学力を身に付けさせる
- 健康や体力の向上、自らの安全確保に対する自己管理能力を育成する
- 小中の連携を図り、行方スタイルの小中一貫教育を推進する
- 保護者・地域との連携を図り、相互理解に基づく協力体制を確立する

外部機関との連携

- ・市教育委員会
- ・市内小中学校
- ・県教育委員会
- ・鹿行教育事務所
- ・県教育研修センター
- ・高等学校
- ・特別支援学校
- ・市相談室ポプラ
- ・児童相談所
- ・スクールカウンセラー
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・行方警察署（警察と学校との連絡制度の活用）

組織目標

- ◎ 互いを認め合い、励まし合える生徒を育成する【思いやる力】目標値90%
- ◎ 根拠をもとに自分の考えを表現し、進んで学習ができる生徒を育成する【学び続ける力】目標値80%
- ◎ 自らの健康・安全や体力を主体的に向上させる生徒を育成する【やりぬく力】目標値80%

各種評価

- 学校評価
 - ・自己評価
 - ・学校関係者評価
 - ・外部アンケート
 - ・生徒アンケート
- 学校評議員制度
- 教員評価
 - ・組織・グループ目標
 - ・自己目標と評価 R→P→D→C→A

研修テーマ「『学びに向かう力』を育む学習指導の在り方」

学びプロジェクト

- 主体的・対話的で深い学びを引き出す授業づくり（根拠をもとに自分の考えを表現し、進んで学習ができる生徒の割合80%）
- キャリア教育の視点を生かした学ぶ態度の育成（自分の将来の目標に向かって勉強の仕方を工夫している生徒の割合80%）
- 活用力・基礎力テスト及び学力診断のためのテスト、全国 学力・学習状況調査結果等を活用した 履修内容の定着（学力診断のためのテストで県平均正答率を超える生徒の割合55%）

思いやりプロジェクト

- 互いを認め合い、励まし合える生徒の割合 90%
- 自らの生き方や他者との関わりを重点化した道徳教育の展開
- 教育相談、生活アンケート、QUテスト等を活用した望ましい集団づくり（学校が楽しいと感じている生徒の割合 95%）
- 生徒の主体性を高める特別活動の展開（生徒が中心となった学校行事が行われていると感じている生徒の割合 95%）

健やかプロジェクト

- 自ら健康・安全の確保や体力向上に取り組む生徒の割合80%
- 食に関する指導の充実（給食指導の充実・栄養教諭等による講話）
- 運動部活動の充実
- 保健安全教育の充実（薬物乱用防止教室・交通安全教室・防犯教室・性に関する講演会・ケータイ安全利用教室）
- 体力テストの結果を踏まえた対策（2・3年生 A+B判定の生徒の割合 男子60% 女子90%）

魅力ある開かれた学校

- 小中一貫教育における交流授業の実施
- ホームページ、学校通信の発信・発行
- 授業参観、学校行事などでの学校公開
- 校内コンプライアンス推進委員会の充実
- 学校評議員制度の効果的な活用

